

彼の病愛～嫉妬独占誘拐欲情～

あらすじ

貴女には付き合って1年になる彼氏、郁巳がいる。

彼はとても優しく、包容力があり

安心できるパートナーで、これから長く続くだろうという予感がしていた。

ある日、彼からデートの誘いがあり、待ち合わせ場所に行った貴女を迎えたのはいつもと変わらない笑顔を向ける彼だったが…

人物：水無瀬 郁巳（みなせ いくみ）

年齢：25歳 身長180cm 体重68kg

貴女と付き合い始めてから、初めて自分に独占欲が芽生え、それに戸惑っていた。

他の男と連絡をしていることや

その男の話題を自分に話してくることにすら

ストレスを感じてしまうようになるが

表には決して出さないようにしていた。

プロローグ

好き、好き好き、愛してるよ。

愛しているから、君のこと、大切にするね。

誰にも触れさせない。

誰にも見せない。

その上で、俺は君を幸せにする。

そう、決めたんだ。

Track01

ねえ、こっち、向いて。
ふふ、恥ずかしい?
大丈夫だよ、電気消してるから、
君の可愛い顔だって、良く見えない。

嘘じやないよ、本当は電気つけて隅から隅まで全部見渡したいのに
すっごく我慢してるんだから、俺。

ほら、こっち向いて

んっ

(優しいキス)

ちょっと、まだ緊張してるね。

分かるよ、見えなくても。
肌に触れた温度、指先の力の入り方。
肩に触れた瞼の感触。
全身で君を感じるから、分かる。

大丈夫だよ。
優しく、ゆっくり抱くからね。

ほら、手出して。

俺の指、分かる?
見えなくても、形覚えてるでしょ。

ふふ、こんなにゴツゴツしてたよ。
君の指は、こんなにすべすべで気持ちよかつたっけ?

...冗談。全部覚えてるよ。
この君の手の大きさも、髪も、声も...

(激しいキス)

唇以外も奪わせて？

(服を脱がせる)

綺麗…薄暗くてもちゃんと分かるよ。
美しい形が…指でこうやって、沿って、
はっきり分かる。
指で、乳首触れてるよ。
スーって、掠めるように通って、
今度は、人差し指と中指で絡めとるようにつまんで、
転がして…
やらしく立ってるね♡

可愛い、今度は舌で、ね。
首筋から、肩。
脇を通って、胸。
ゆ一っくり、先っぽに。

(乳首舐め)

声出すの恥ずかしいんだ？
なんで？俺、君の声好きだからもっと聞かせてよ。
ほーら。

(乳首舐め)

ふふつ、ちょっといじめすぎちゃった♡

君が可愛すぎるのがいけない。
興奮して止められなくなっちゃう。

じゃ、そろそろ下の方も、いいね？

大丈夫、ショーツの上からするから。
ゆ一っくりなぞってあげる。
まだだよ、まだ腰。ここから太ももに行って
今度はお尻。
あ、くすぐったかった？
それとも、ちょっと感じた？

…はい、今度は、こ、こ。

まだショーツの上からゆっくり触れただけ。
やさしく、擦ってあげる。

そんなに抱きついたら、触れないよ。
後でしっかり抱いてあげるから、力抜いてて。

ここ、押してほしい?
ほーら。あーびくびくってした。
ここ?ここ?
可愛い声出して無防備になっちゃって。
もうすっかり夢中だね♡

このまま、いじってあげる。
じわーって温かくなったよ?
ね?中指と人差し指でショーツの上から擦られて、変になっちゃったね?
いいよ?可愛い。このまましてあげるから。
もっとおかしくなって?

(キス)

ショーツ、脱がすよ。

ねえ、しようか?

それとも、もうちょっと焦らされたい?

…なーんて答えないの?
ねえ?

(耳元)
舌でグチョグチョにされるの、想像した?

ふふ、想像通りかどうか、確かめてみて。

(クンニ)
あのさ、そんなに頭抑えられたら、動けないんだけど。

まあいいか、舌だけなら動かせるし。

(クンニ)

ねえ、どんどん溢れてくるよ。

エッチなお汁、すごい。
舐めても舐めても溢れてくるから
いっぱい飲んじゃった。

あ、ビクビクしてる。
舌でもおかしくなっちゃうの?
ねえ?もっと舐めてほしい?

(クンニ)

なんって可愛いの君は。
あーもうずっと舐めてたい。

けど、もう入れたくて我慢できなくなっちゃった。

とろとろまんこに、俺の挿入するね。

(挿入)

あっ…
これ、ダメかも。
動いたら出る。これ、無理。

ちょっと待ってね。

(息を整える)

俺、知らないよこんなの。
君の膣、良すぎだって…

ていうか、ダメだ、早く出したいし。
気持ち良すぎて、動かないと、死ぬ。

(軽く動く)

あー、やばーー、挿入ってるだけすごいのに
動いたら、これもう無理。

なんで?俺と君、相性良すぎ?
はっ、ちょっと、胸、吸わせて。

(乳首攻め)

はー、全然収まんない。
むしろ、このままイきそう。

あー、ダメだ。動くよ。

(動く)

だっ、あ、また、締めてる。
イク？イって、イク声聞きたい。
ほら、突くよ、あつ、あつ、あつ。

あーー、可愛すぎ♡

(抱きしめる)

ごめん、我慢できない。

(早く動く)

あー、ヤバ、もうイキそ。
君の膣で、沢山精子出す。
ね、出すよ。中にびゅるびゅるーって♡

あー、いく、いく

(射精)

(息を整える)

もうちょっと、このまま…

(キス)

今日はゆっくりできるんでしょ？
このまま朝まで、抱き合っていよ？

可愛い可愛い俺の彼女さん♡
ふふつ
(抱きしめる)

Track02

お疲れ様。

ううん、全然待ってないよ。

それには、俺、君のこと待っている時間もわくわくして楽しみにしてたから
明日になったって待ってるよ。

はは、それじゃお店行こうか。

今日、いくところ、俺の知り合いの店でね
隠れ家みたいなどこだから、ちょっとびっくりしちゃうかも

そういうところなら、君も楽しんでくれるかなって

○部屋の前

ほら、着いたよ
すごいでしょ、ただのマンションの1室みたい。

でもほら、南京錠がかかってるでしょ。
これが秘密の番号なんだ。

○南京錠を開ける

開きました。
それじゃどうぞ。

(ドアを開ける)

(二人で入ってからドアを閉める)

まだまだ普通の部屋みたいだけど...

(ドアを開ける)

ほら、見て素敵なバーカウンターだ

(入口の鍵を閉める)

...実はね、今日は僕ら二人で貸し切りにしてもらったんだよ。
特別な日だから。ね。

喉乾いたでしょ？

...うん、じゃあちょっと待っていて

◦冷蔵庫を開けて、グラスにカクテルと材料を注ぎ混ぜる

こうしているとバーテンダーみたいに見える？

はは、なんだか面白いね。

◦グラスを置く

はい

...このカクテルはね
グレープフルーツとライムジュースにラムと砂糖を加えていて
とても飲みやすいカクテルなんだ。
すっきりとして飲みやすいよ、どうぞ。

◦カクテルを飲む

どうかな？

良かった、俺が好きなカクテルだから
そう言ってくれると嬉しいな

ああ、沢山歩いたから眠たくなったんだね。
大丈夫だよ。ここでゆっくり休んだらいい。
なにも気にする必要はないさ。

◦意識が薄れソファーに倒れこむ

そう、もうなにも気にしなくていいんだ。
だって、君は俺だけのものになるんだから。

Track03

おはよー♡

…ふふ、目、覚めた？

昨日のこと…ああ、ちょっとだけ記憶が混濁してるか。

すこ一しだけ、クスリ盛っちゃったからね。

あ、大丈夫、微量だから副作用とかの心配もなし。

まあでも、俺的には好都合、かな？

ねえ、俺は誰？

そう、君の彼氏の郁己！

昨日は付き合って1年の記念日だったね。

少しずつ思い出してきたかな？

ここは昨日、貸し切りだって連れてきたマンション。

嘘じやないよ、ほんと。

まあ、お店じやなくてちょっと変わった住居なんだけど。

結構、大変だったよ、条件に合う物件って中々ないんだね。

え？ 条件？ ふふー。

防音がしっかりとしていて、カウンターキッチンがあつて、
十分な広さで、床暖房がついていて、窓のない部屋。

全然見つかんなくてさ、結局、詳しい人に紹介してもらって
やっと見つかったんだよ。

だから、すっごく気に入ってる。

どう？ この部屋。

ああ、俺、紫外線アレルギーでしょ。

だからカーテンよりシェルターがついてる方が安心だなって。

気に入ってくれたんだ？ 良かったー！

しかもすごいんだよ、冷蔵庫だけじゃなく、ワインセラーもついててさ！

風呂なんて、テレビもついてるし！もう至れり尽くせりって感じで！

…お金？

一応、うちの会社、グループの子会社だから。

審査はなんとか通ったよ。

ん、ごめん。そうだよね、引っ越すとか言ってなかつたら
急だったね。

本当、ごめん。

どうしても、君には隠しておかなきやつて。

だってさ、困るじやん。

逃げられたら。

…え？そのままの意味だよ。

逃げられないように。

俺、ちゃんと準備したから。

それなのにさ、寸前でバレて、
君がどっか行っちゃったらショックでしょ。

だから、

ちゃんと気づかれないように、やつた。

あー、ちょっと焦ってるね。

いいなあ、君のそういう顔も。

半年前に同棲したいって言って、

ちょっとケンカしたときもそういう顔してたね。

懐かしいー。

変？変じゃないよ。だって俺はこういう人間だもん。

君と一緒にいるためだったら手段を選ばない、そんな人間。

知らなかつた？

そつかあ、ちょっとショックだなあ。

でも、ちょっと前までは俺も。君のこと、全然知らなかつたよ。

ほら。

(スマホを見せる)

このアカウント、だーれのだ？

君のだよね？

こんなのやってるって俺には一言も言ってくれなかつたからさあ。

見つけたときは驚いたよ。

ほら、付き合う前の君のつぶやき。

「本当に今度は好きになれる人と出会えたかも」

可愛いなあ…俺のこと、そんな風に考えててくれてたんだって

俺、これ見たとき涙流して喜んだよ。

あ、引いてる、引いてる。

なんでー？俺は感動的な話してるのになあ。

でもさ、余計なものも見ちゃった。

ほら、こいつ。ハジメってやつ。

こいつ、俺と付き合ってるの知ってるクセに
なんかあるたびにアプローチしてきてさ。本当に何様なの？

ああ、俺よりも3年も長く友達なんだっけ？

クッソウゼー、どーせずっと片思いで隙うかがってるだけの短小包茎が
マジで俺の彼女に手出そうとか、思い違いもいいところだろ。

…ふーん、大切な友達なんだ？

じゃあ、これ見てみてー。

(動画再生)

ハジメ

「すみません、俺あなたのこと好きでした、友達じゃなく、ずっと女として見てました。

すみません、もう二度と近寄りませんから。すみませんでした、すみませんでした、

すみませんでした、すみませんでした！」

あはははははは！爆笑！！

ハジメくん、最高すぎる…

プライドとかないのかよ！あははははは！！

あー、笑ったあ。

ほらね、こいつは君のこと、ずーっと女として見てたんだよ。

それで、一番近い異性の友達っていう良いポジションとて、その上で隙あらば彼氏になってやろうっていう、コソコソムツツリ野郎！笑うわこんなん！

あ♡これは初めて見る顔だ。

恐怖に慄いた君も美しいね。

なんでこんなこと？

むかついたからに決まってるじやん。

だってさ、俺の大切な君を、あろうことかこんな中途半端な気持ちで

奪おうとしたんだよ。許せるわけ、ないでしょ？

あ、もしかしてもしかして。

ハジメくんの事知ってるってことは…て思った？

やっぱり僕の彼女は勘が良いね！素晴らしい！

へ～、心配してるんだ、あいつのこと。

なんで？ハジメくんはまだ分かるけど。

こいつなんて本当にただのクズだよ？

あ、顔色悪くなってきてるー。

えー、ショックだなあ、こんなやつのどこがいいのか、俺にはちょっと分かんないなって。

だから、見せてあげるね♡

(動画再生)

ねえ、ケンジさん、なんで彼女に近づいたの？

正直に言って？

ケンジ

「やりたかったんです、見た目がタイプだったから…一回だけでもって

だから、もう勘弁してください…俺を家に、返して…お願い、お願いします…」

あ～あ、君の憧れの先輩だったのにねえ？
俺とちょっと上手くいってないって相談に親身になってくれて、
で、二人でゴハン行って。
「俺だったら、君にそんな思いさせないけどな…」なんて言ってさ。

あーーー、きっしょ。虫酸走るわ。

ま、憧れの先輩なんてこんなもんなんだから、危なかったでしょ、実際。
あーあ、こいつは笑えねえわ、胸クソ過ぎる、マジで死ねよ。

え、優しい…こんなクソすぎる先輩の心配してるの？
…殺そうかなって思ったけど、やめておいたよ、でないと
今日を祝えなかつたかもしれないからね。

…ね、SNS って怖いねー。はつきり言わなくたって
鍵かけたって、分かる人にはぜーんぶ分かっちゃうんだから。

俺は君のことが知れて、とっても助かったけど♡

あ、なんで鍵かけてるのに…て思った？
うん、だってこの nene ってフォロワー、俺だから♡

顔出しそしてるから全然気づかなかつたでしょ？
これ加工した俺の写真♡
結構、可愛く撮れちゃつたから載せちゃつた。

なんでこんなこと？
俺はね、君のこと、なんだって知りたいの。
良いことも悪いことも、ぜーんぶ、ね♡

はー、君はやっぱり賢いね、無駄に騒ぐこともせず、どうやつたら
俺のこと宥めてここから出られるかこの状況でもちゃんと考へてる。

そういうとこも大好きだなあ。
でもね、そんな君だから、閉じ込めた。

だって、君は、俺の本性をどこかで見抜く。

例えばこれから上手くいって、もし結婚できたとしても、
きっと俺の本性を暴いて、拒否し始める。

でもね、俺は君の全てを知っても、大好きでいられるよ。

信じて。

…信じられないなら、今からそれを実証してあげる♡

(床に押し倒す)

あっはは、叫んでもいいけど、喉枯れちゃうよ、無駄だって。

…やめて

(キス)

大好きな君の声が掠れちゃうじやん…

て思ったけど、ああ、掠れ声も良いかも、ね。叫んでもいいよ♡

あ、恐怖と混乱でちょっとおかしくなっちゃってるー♡

うん、好き、やっぱりどんな君も好き。

どんな君も俺だけが愛してあげる。

(服を脱がす)

あ、君の好きな服も沢山、用意しておいたから、

もちろん下着も。

欲しい物があったら用意するよ。

だから、色んな君がまた見れる♡

おかしい？おかしくなんてない、君の魅力に取りつかれてるだけ♡

ああ、このおっぱいなんて、何度見ても感動する。

最初のときなんてさ、薄暗くてほとんど見えなかつたのに

すっごく興奮したもん、今でも思い出す。

でもね、今も同じくらい、いやそれ以上に興奮してる。

(乳首責め)

君だってそうだ、こんな状況でも声が出てしまうくらいには興奮してるんだろ？

(乳首責め)

(耳元で)

ねえ、俺のことは嫌いになつても、身体は拒否できないよねえ？

気持ちいいの覚てるんでしょ？ここだって

(右耳舐め)

耳犯されるの、怖い？それとも感じてる？
まだどっちか分かんないなあ。

(左耳にシフトして左耳舐め)

あー、分かった。両方だ。
エッチな君が大好きだよ。
それに抵抗してる君も、いい♡

(ベッドに押し倒す)

そのまま背中向けて、後ろから犯してあげる♡

ほら、後ろから胸虐められて、ショーツの上からまさぐられて
無理やりされてるみたい。
みたいじゃないか、無理やりしてるんだ。
あーあ、大好きだった彼氏にこんな風に犯されて、裏切られて
可哀そうな彼女♡
でも、しっかり愛すから、無理やりでもちゃんと、ね♡
あー、声出ちゃうね。
もう乳首と耳犯されて、ちょっとおかしくなってきちゃったね。
でもまだ、下は全然犯していないから、これからだね♡
もっとおかしくなろっか♡

乳首転がされながらー、ショーツの上からこしゅこしゅ♡
あー、イカされそうで怖いねー。
後ろからされてて不安だねー。
でも、気持ちいいんでしょ？

ほら、情けなくて、可愛い声でてるもの♡

軽くイキそ？いいよ、このままこしゅこしゅしてあげる。
乳首軽くつねって、こしゅこしゅこしゅこしゅー

あー、可愛い声でた♡

じゃあ、全部脱ぎ脱ぎしようね♡

あー、可愛いお尻。

…お尻、ちゃんと味わったことないなあ。

だーめ、逃げられないよ。

ほら、諦めて、全部俺に任せて♡

そのままうつぶせになっててね。

(アナル舐め)

汚くないよ、君の後ろの穴、やらしくひくついて
とってもエッチだよ♡

(アナル舐め)

…ふふ、もう抵抗する気力もなくなっちゃったかな？

汗かいてる…

(汗を舐める)

君の体液、全部舐めとりたい♡

身体、こっち向いて

あー、感じてる顔も好きだなあ。

いっぱい犯されて、涎も垂れちゃったね。

あれ？

ふふ、下も随分、濡れてるみたいだけど？

口で確かめてみようね。

(クンニ)

おいし…いつもとちょっと味も違うね。

でも、敏感なのは変わらないなあ♡

ほら、先舐めてあげる。

(クリクンニ)

あー、気持ちよさそう。

指も入れてあげる。

ジュボジュボ、音してるよ？
君の愛液で滑って指が奥まで出たり入ったりしてます。
やらしいね。ほら、舐めながらしてあげる。

(クリクンニ、手マン)

いいよ、良くなつて♡
俺の舌と指で、クリ犯されてイつて♡

(クリクンニ、手マン)

んっ、良い子良い子…

あー、ダメだ。俺のも気持ちよくして。

ほら、咥えてよ。

(陰部を口に咥えさせる)

あー、良い、そのまま奥に入れたまま舐めて♡

やばー、良すぎ。

気持ちいいよー、君の喉と舌、最高にいいよ♡

ヤバ、良すぎてイキそ。

あー、ストップ。

やっぱ膣で全部出したい。

え？ ゴムなんてしないよ。
全部、君の膣に注ぎ込むから。
やだなあ、当然じゃん。
だって、君はもう俺のものなんだよ？
大事な精子は、1滴だって無駄にできないよね。
って、言っても、口の中でカウパーたっぷり出ちやったけど。

でも、まだまだ沢山出るから、安心して♡

さ、ここからが本番だよ。
意識失わないように、頑張ってねー♡

(挿入)

あー、挿入った。
あ、すごい締めてる。
気持ちいいー。

ああ、そういえば言ってなかつたね。
クスリ、催淫効果もあるって。

もうこれだけ感じてるし、関係ないか♡

じっくり愛し合おう、誰も邪魔なんてできない。
俺と君だけの時間。
ああ、なんて良い気分なんだろう

(動く)

ほら、俺の動きに合わせて、君の股、動いてる。
俺のチンコだって、君のおまんこも理解してるってことでしょ？

もう永久に俺専用まんこ。
ああ、なんてエロくて、なんて良い響き♡

俺の精子だけ注がれて、一杯受精しよーね♡

(動く)

はーはー、
じゃあ、今度は膝立てて、お尻向けて。

あー、こっちも良い眺め♡

後ろから犯してあげる。

(動く)

あー、やっぱ。
バックもさいっこー。

(早く動く)

あー、いいね。
声、興奮する。
もっと出して。
ほらっ。

突いたげる。
ほらほら。

(早く動く)

あー、イキそ。
君の膣で、いっぱいどぴゅどぴゅしたい♡
まんこの中で精子で一杯にしてから
閉じ込めて、溢れさせてあげるね♡

(早く動く)

いくよ、いく…
君のまんこ、犯しつくして…いく…

(射精)

(息を整える)

あー、気持ち良すぎて、意識飛んでた…

いっぱい出ちゃった♡
つ、出すぎだね…これ。

ふふ…
毎日、こうやって愛し合えるなんて
俺、本当に幸せだなあ。

…逃げようしたら、ダメだよ。
俺、君には優しくしてあげたいんだ。

ハジメくんやケンジさんは、逆らっちゃったから、ね。

素直に俺の言うとおりにしていればよかったのに、ねえ？

君は賢いから、分かるよね？

…よしよし。本当に良い子だ、君は。

君のこと大事にするよ。

どんな君でも、ね。

Track04

おはよ♡
あ、気づいた?
今日は拘束プレイだよ。

目隠しされて、両手両足、床に固定されて、
大の字になってる君。あー、たまらなくエッチだなあ。

服着せたまま固定しちゃったから、いつもみたいに全部脱がせないけど
それはそれで興奮するね♡

なんだかこれからレイプするみたい。
…あ、違うか、レイプするんだ、彼女なのにな♡

もしかしたら、興が乗りすぎちゃってさ、ちょっと乱暴にしちゃうかも
さあ、まずはその綺麗なおっぱいから楽しもうかな♡

目隠しされて、服の上から揉まれてるの、怖いねえ。
どういう風にされてるか分かんないもんね。
ああ、いい感触。
興奮してる俺のアレ、太ももにあたっちゃってる。
もうバキバキだよ。あー最高♡

全部は脱がせられないけど
(服を捲り上げる)

こうやって、エッチなとこだけ見えるのも、なかなか良いね♡
ほら、乳首こんなに立てて。
怖くても反応しちゃう君の身体、とっても愛おしいな♡

乳首、可愛い～♡
(乳首舐め)

こんなにコリコリに固くして、期待してるんだ?
不思議だね、目隠ししても君の表情は手に取るように分かる。

これからされることへの恐怖と期待が入り混じった顔。
…たまらないなあ♡

ゆっくり舐めまわしていこうかな。

乳首から、脇に向かって、今度は脇腹
可愛いおへそ。
そのまま下に行って

(スカートを脱がす)

ショーツの上で舌が動いてるの分かる？
ほら、クリ、ここでしょ？

(ショーツの上からクンニ)

あーあー、唾液と愛液でお漏らししたみたいになっちゃった。

ん？もっとしてほしいの？
しようがないなあ～

(クンニ)

もうべちょべちょ、脱がしてあげるね
半脱ぎだけど♡

あー、エッチなおまんこ出てきちゃった♡
もう、とろとろで俺を煽ってくるやらしい香りがする。

もう入れてほしいんだ？
ねえ、どうなの？

床に貼り付けられて、無理やり乳首もまんこも犯されて
今度はちんこ入れられて、イかされたい？
…あーあー、もうこんなにやらしい身体になっちゃって。

責任取って、大量精子注ぎ込んであげる♡
ほーら♡

(挿入)

おら、ちんこ挿入ったぞ♡
とろとろまんこにブチこんでやつただけで
締めまくってキュンキュンしてる。

(動く)

こうやって押しつぶすような正常位って、一番射精しやすいんだって。
だから、不意に出ちゃうかもね♡

あー♡なんで？急に膣出しされるかもって思って膣、反応しちゃった？
可愛いー♡

(キスしながら動く)

ね、エッチしながら頸動脈しめると。
低酸素状態になって感じやすくなるらしいよ？

あ、抵抗しようとしてるー♡
焦ってる君って可愛いんだよなあ♡

でも、だ一め。
手、動かせないでしょ？
ていうか、全身動かせないから、もう俺の玩具だよ♡

ゆ一っくり締めてあげる♡

(首絞め)

おっ、膣きつくなった。
このまま動くね♡

(動く)

あー、これヤバい。
ただでさえ狭い君のまんこがギュンギュン締め付けてくる♡

あー、なにこれー、腰止まんない。

(早く動く)

あー、本気で嫌がってたクセに、感じちゃってる♡
ね、ちんこの快感には逆らえないね♡

だって、俺の手も、ちんこも、全部、気持ちいいって覚えちゃったもんね♡

あーあ、可愛い♡

イコつか？

おつきくイ fkaw けそうだね？

俺も一緒にイきそう♡

あー、気持ち良すぎ…

あー、いくいく、君のまんこに

いっぱいいっぱい精子注ぎこむ…

あ、出すよ♡

(射精)

(息を整える)

あー、いっぱいレイプしちゃった♡

(キス)

もう一回、しようか？